

第3回境港市みんなでまちづくり推進会議会議録

日時：平成26年8月7日(金) 18:30～21:00

場所：市民活動センター

日程

1. 開会
2. 平成26年度境港市市民活動推進補助金の審査
3. 閉会

出席者（敬称略）

石橋文夫 植田建造 遠藤恵子 梶川恵美子 門脇京子
徳尾勝 松本幸永 水田浩司 渡部敏樹

欠席者（敬称略）

門脇紀文 土田良和

<開会>

（事務局）

審査は審査員をみんなでまちづくり推進委員のなかから3名選出し、地域振興課長と合わせて4名で審査を行います。推進委員から選出する審査員は事前に相談をして決定しました。

第2回目の募集を行ったところ、一般事業に3団体、緑化事業に2団体の申請がありました。事前に書類審査をお願いしておりましたがその評価点につきましては別紙のとおりでございます。

この後のプレゼンを受けて、評価の修正を行っていただき、審査と総評を行っていただきます。それでは、プレゼンに移ります。

<申請団体によるプレゼンテーションの開始>

◇1団体目 境港市ことぶきクラブ連合会

- ・申請事業 境港市ことぶきクラブ連合会設立50周年記念講演会
- ・事業内容 設立50周年を迎え、記念セレモニーとして地元出身の女優・司葉子さんを講師に迎えた講演会を市民体育館で実施。

（委員）

送迎バスを用意されていますが、記念セレモニーに参加されるのは会員のみですか、それとも会員以外も参加されるのですか。

(境港市ことぶきクラブ連合会)

今回は会員以外の方にも参加を呼び掛けます。バスを用意するのは車の運転ができない方のため、また、例年と会場が異なるため参加しやすい環境を整えるためです。

(委員)

一般参加者を募るための広報はどのような事を考えていますか。

(境港市ことぶきクラブ連合会)

市報と新聞への掲載をいたします。8月2日の日本海新聞にPRコメントを載せたところ
です。

(委員)

民間のバス会社からの見積りがついておりますが、社会福祉協議会等のバスは使えないの
ですか。

(境港市ことぶきクラブ連合会)

使えないことはないのですが、台数が少ないです。

(委員)

市内を回ることなので、小回りが利く方がいいんじゃないかと思いました。
また、市民体育館で開催されるとのことで、トイレや会場での席、フロアに椅子が用意さ
れるのか、ゴザを引いて座るのか心配されている方もいらっしゃるようです。

(境港市ことぶきクラブ連合会)

会場設営にかなりの経費が掛かる見積りがでてます。経費を抑えようとするので我々で準
備をすることになりまして、イスを1000席用意しようと思うと大変です。ただ、十分に配
慮をして設営をしていくつもりです。

(地域振興課長)

予算書のなかで、ことぶき文化祭分の予算が昨年度、今年度とほぼ同じ額が計上されて
おりますが、長寿社会課からの補助金が充てられていると聞いております。従来の文化祭
とは場所が変わるといってもありますが、会場設営費等はそこに含まれるのではないかと
思います。ですので記念講演会にかかる費用が従来と異なるものであり、この部分の補
助金申請をしていただくのがよいのではないかと思います。

また、今回は市民会館の使用がどうなるか分からない状況でしたので、長寿社会課への
予算要求ができなかったのだと思いますが、このような周年事業を行う際には主管課へ要
求されるのが本筋だと思いますので今後につきましてはそのようにしていただけたらとい
うお願いです。

イスの準備は難しいとのことでしたが、ゴザが敷いてあるとはいえ、長時間床の上に座
ることがきつい方もいらっしゃると思いますので、全部ではなくてもイスの準備があるといか
なと思います。

(境港市ことぶきクラブ連合会)

イスにつきましては検討させてください。体育館は床に傷がついてはいけませんので、シートを張らないといけない状況もありますので。市報では座布団を持参してくださいと載せようと考えております。初めてのことで、こちらでも会場準備や安全面に不安があることはあります。良い知恵があればお借りしたいともいます。

◇2 団体目 竹内町伝統行事保存会

- ・ 申請事業 竹内町伝統行事継承事業
- ・ 事業内容 これまで稚児行列を行う際には山車を借用していたが、地域の新伝統行事として将来にわたって継承するため、自分たちの手で山車を製作する。

(委員)

申請書に書かれていないのですが、製作後、山車を保管する場所はあるのですか。

(竹内町伝統行事保存会)

あります。

(委員)

人員が減ってきているなかで盛り上げのためにも製作したいとのことでしょうけれども将来的な見通しはどのようにお考えですか。

(竹内町伝統行事保存会)

余子保育園や小学校区といったところまで広げていけたらいいなと思っております。

(委員)

製作した山車は稚児行列以外でも使用するのですか。

(竹内町伝統行事保存会)

今のところ稚児行列のみです。

(委員)

ということは年1回のみでの使用ですね。保管は具体的にどうされるのですか。

(竹内町伝統行事保存会)

図面を見ていただきますと、ある程度分解できるような作りになっております。そのため、保管の際には分解し、倉庫に入れておきます。

(委員)

自分たちの手で製作されるとのことですが、皆さんで組み立てるとのことですか。

(竹内町伝統行事保存会)

メンバーに大工や図面を引けるものがございますので、外注ではなくできる限り自分たちで作っていきます。また、大人だけで行うのでは意味がありませんので、日曜日をメインに子どもたちを巻き込んで地域のコミュニケーションを図ることが一番の目的であると考えていただけたらと思います。

(委員)

神輿はありますか。

(竹内町伝統行事保存会)

ないです。

(委員)

これを利用して神輿にもできるんじゃないかと感じました。そうすれば年1回でなく、使用する機会が増えるなど思いました。

(竹内町伝統行事保存会)

一先ずは山車をつくることを最優先に考えておきまして、今後その活用については検討していく必要があると思います。参考にさせていただきます。

(地域振興課長)

これまで3回稚児行列を実施されたようですが、以前から竹内町で稚児行列というものはあったんですか。

(竹内町伝統行事保存会)

ないです。今後これを伝統行事として続けていきたいです。

◇3 団体目 一般財団法人境港青年会議所

- ・申請事業 境港の「海の魅力」体験事業
- ・事業内容 イベント開催時水木しげるロードから公共マリーナ間の移動手段として「海上タクシー」を運行する。海上保安庁の巡視船による「海上遊覧」を行う。また、自治防災課職員により、参加者に対してハザードマップを見ながら、海から「防災ガイド」を行ってもらう。

(委員)

水木しげるロードに来られた観光客を呼び込みたいとのことですが、来てもらうための方法はどのように考えますか。

(境港青年会議所)

一気に公共マリーナまで運びたかったのですが、規制の関係がありまして、中野港までバス、そこから海上タクシーでイベント会場までという計画としております。

具体的な集客方法としては、市内では小学生に予告チラシというものを配っております。また、新聞の折り込みチラシとして2万部ほどイベント全体のものを入れるのですが、その中に会場タクシーの記載もしております。さらに、ダラズFMでの広報もしております。観光客に対しては、イベント会場の様子を境港駅前特設テントにて映像で流す予定です。

(委員)

事業概要にゲタ飛ばし大会に参加してもらうためにシャトルバスをとありますが、海の魅力体験事業との目的の相違が生じると思います。

また、シャトルバスに30人乗れて、会場タクシーには最大20人乗れる。そうすると残り10人は乗れないので直接会場へ向かうことになるのですが、会場タクシーに乗る20人はどのように決めるのですか。

(境港青年会議所)

まず目的についてですが、ゲタ飛ばし大会の知名度が高くなってきて、毎年1,000人ほどの参加者があります。その集客力のあるイベントにぶつけることでこれまでのネックであった人を送り込む手法の一つとして海の活用、また、公共マリーナ周辺へ目を向けてもらうきっかけ作りとしたいと考えております。

次に人数についてですが、境港駅前に時刻表を用意し、バス2台、船2艘で6往復を予定しています。受付の際に船に乗りたい、バスで直行したいという希望を聞きます。観光客の方も限られた時間のなかで境港に来ていただいているので、時間のある方、ない方の希望によって振り分けを行う予定です。

(委員)

私たちには思いつかない、おもしろい発想だと思いました。

(地域振興課長)

巡視船の体験乗船は実施してもらえるよう調整はできているのですか。また、海上タクシーについても海上保安部の許可は得ていますか。

(境港青年会議所)

はい。体験乗船についてはチラシの裏に申込書をつけていますので、事前に申し込んでもらい乗船される方へ日程の案内を行います。

(委員)

海上タクシー乗船中に貨客船ターミナルのことなど話をしてもらえたら、地元民や観光客の方にもPRになるんじゃないかと思います。

(境港青年会議所)

遊覧中には青年会議所のメンバーも乗船しますので境港の地域性や漁船を使用しますのでどのような漁をしているのか説明します。

<プレゼンテーション終了>

(会長)

それでは審議に入りたいと思います。まずは「境港ことぶきクラブ連合会」から意見ををお願いします。

(地域振興課長)

先ほどの質問の際にもあげましたが、例年開催されていることぶき文化祭、作品展と発表会ですが、昨年とほぼ同額の予算が計上されています。ですので、その費用はその予算で賄ってもらい、記念講演の費用を補助するのがよいのではないかと思います。

(会長)

50周年を迎えるのが分かっている、予算の申請をしていないのが不思議です。

(地域振興課長)

予算要求の時は市民会館が使用できるか、できないか分からない時期だったからだと思います。

(会長)

予算を見ても、周年イベントの予算は組まれていないようですし、そこを補助するのがよいと思います。

(地域振興課長)

細かいところはこちらで団体と協議させていただきたいと思います。

(会長)

次に竹内町伝統行事保存会です。

(委員)

伝統行事というから昔から続いていたものかと思ったら、これから繋げていこうというものでしたね。

(委員)

山車を自分たちで作って、伝統行事としていくという考えはいいことだと思います。ただ、稚児行列にしか使えないという点もつたいないと思います。

(委員)

完成品を買うということはダメですが、材料を買って自分たちでつくるといことなのでよいと思います。

(委員)

地域の人たちと協力しながらですし。

(委員)

やっぱり、年に1回という点が残念です。

(委員)

発展性は乏しいですね。

(委員)

とんどさんとか他の行事の時にも登場させるとか、活用方法を考えてもらえたらと思います。

(会長)

この活動を見本に他地域に広がるといいですが、子どもも少なくなってきましたし、難しいかもしれないですね。

(委員)

伝統行事をつないでいきたいという気持ちは分かりますが、今のメンバーが高齢になった後、継いでいかれるか、先の見通しが心配ですね。

(委員)

他地区から山車を借りたいという要請があれば、貸し出しを認めてもらうようにしてもらいたいです。

<採択>

(会長)

最後に、境港青年会議所です。昨年に引き続きの事業です。夢みなとタワー周辺はいい設備が整っているのに普段は人がほとんどいませんターミナルができれば変わっていくでしょうけれど。

(地域振興課長)

ゲタ飛ばし大会は水木しげるロードで開催していたので参加者も増え大きなイベントとなってきましたが、今回はじめて竹内で行うということで例年通りの人が参加すればすごい効果があります。

(会長)

主催側もそれを目標に動いておられるでしょう。

(委員)

申請事業の海上タクシーだけをみると費用対効果は薄いです。

(地域振興課長)

海上タクシーの便数や数を増やすというのは限界があるのではないかと。船だけでなくイベント会場の準備経費も含まれています。

(会長)

いろいろなアイデアを出して、毎年違うことをやってくれるのはいいことだけれども、拡大させて、それを定着させてほしいです。

<採択>

(会長)

緑化事業は同じような事しかできないですし、積極的に認めていく方針で美化運動にもつながりますのでよいかと思えます。

(地域振興課長)

マツ植樹隊については、壮大な事業計画で、今年度の収支計画の中で重機借上げ料が大きな支出となっています。これに関しては管理組合に負担してもらって、植樹や草取りといった管理を団体でやるというような整理をしていかないと、先が不安ですね。

(会長)

事業を進めているうちはいいんですが、マツがある程度育った後の管理にすごい負担がかかっていくんじゃないかという気がします。マツが成長していくまでは手をかけてやらないといけないし、成長後は間伐もしないといけないですし。

<採択>

<閉会>